

ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2018.6.01-6.03

BRP
BIRTH RACING PROJECT

Race Report



Super Taikyu 2018 Series Round-3 / FUJI

(2018.6.01-6.03)

ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2018.6.01-6.03

BRP
BIRTH RACING PROJECT

BRP Audi Mie RS3 LMS は前戦菅生では、宿敵シビックに一步及ばず予選・決勝共に2位でレースを終え、いよいよ今季最大のイベントとなる富士24時間耐久レースに挑み、深刻な車両トラブルにより35分後のピットスタートとなるが、チーム一丸となり24時間走り切りクラス3位でチェッカーを受ける。

バースレーシングプロジェクト【BRP】は2018年6月1日～6月3日に開催された「スーパー耐久シリーズ第3戦 富士スピードウェイSUPER TEC 24h」において、宿敵モデューロシビックへのリベンジに燃えるチームでしたが、予選日から続く深刻な電装系のトラブルにより、35分遅れでピットスタートとなるが、チーム一丸となり首位を猛追して、レース終盤にはクラス2位まで順位を上げ、モデューロシビックとチェッカーまで2位争いとなるが、終盤ミッショントラブルの発生により戦闘力を失い、惜しくも3位という結果でレースを終えました。

【5月31日(木)フリー】天候:晴れ 路面:DRY

昨年から新設されたST-TCRクラスにAudi RS3 LMSを今年も引き続き投入して、レースウィーク木曜日からテスト走行を開始しました。今季のスーパー耐久の最大のイベントとなるSUPER TEC 24時間レースで、シリーズチャンピオンを目指して、シリーズポイントの大量獲得が必須の重要なレースウィークがいよいよスタートしました。



【6月1日(金)公式予選】天候:晴れ 路面:DRY

公式予選がいよいよ始まりました。AドライバーのHIROBON選手がアタックを開始して車両に少し不具合を抱えながらも1'50.993を叩き出しクラス3番手を獲得し、続くBドライバーのYOSSY選手も果敢にアタックするがタイムが振るわず、1'51.978で、クラス7番手となり、A・Bドライバーの合算タイムで、決勝レースは後方の7番手からのスタートとなりました。

レースウィークをスタートしてから徐々に電装系トラブルが進行し、本来のパフォーマンスを発揮する事ができない厳しい中の予選でしたが、無事に予選は走行し予選終了後もメカニッククルーにより懸命なトラブルの原因究明と、復旧作業を進めました。

【第3戦富士スピードウェイSUPER TEC 24h ST-TCRクラス予選結果】

Aドライバー:HIROBON コース:DRY タイヤ:スリック 1'50.993 クラス3位
Bドライバー:YOSSY コース:DRY タイヤ:スリック 1'51.978 クラス7位
Cドライバー:秋吉 圭 コース:DRY タイヤ:スリック 1'53.654 クラス7位
Dドライバー:奥村 浩一 コース:DRY タイヤ:スリック 1'52.175 クラス5位

1位	No.65	L&JR Mars Audi RS3 LMS	3'40.470
2位	No.97	Modulo CIVIC TCR	3'41.184
3位	No.98	FLORAL CIVIC TCR	3'41.332
4位	No.10	Racingline PERFORMANSE GOLF	3'41.658
5位	No.75	m-1 CARCACTORY RS3 LMS	3'42.971
6位	No.45	プリズマ☆イリヤ RS3 LMS	3'42.937
7位	No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	3'42.971



【6月2日(土)～3日(日)決勝】天候:晴れ 路面:DRY

晴天の富士スピードウェイでいよいよ24時間の決勝レースのスタートを迎えました。

レースウィークから続く電装系トラブルが深刻なレベルまで進行してしまい、復旧が出来ないまま24時間レースのスタート時刻を迎えてしまいました。

グリッドに車両を並べる事ができないというチームとしては言葉に言い表せないほどの厳しい状況の中、メカニッククルーは諦めずに懸命に復旧作業を続けます。なんとか走行できるレベルの応急処置を施し、



35分遅れでピットスタートから24時間レースがスタートしました。トラブルは解決されておらず応急処置の対応となり、いつレースができないほどのトラブルが発生するかわからない大きな爆弾を抱えたまま、24時間後のゴールに向かって猛追を開始しました。各ドライバーはとにかくノーマスで車両に負荷を与える事なく、バトンをつなぎながらも、諦めずに大きく先行するライバルの追撃を開始し、夜間走行中に右ハブにトラブルが発生しましたが、素早い

リカバリーで最小限のタイムロスで再びコースに車両を戻し、チーム全員が決して諦める事なく走り続ける事を信じて、厳しい24時間レースの朝を迎えました。朝を迎える頃にはクラス3位まで順位を回復して、

気温が高くなる厳しい条件の中更に猛追を続け、終盤に乗車した奥村選手の時にはライバルモデューロシビックとの2位争いとなり、一時は2位を走行しそのまま逃げ切るように、毎週慎重に走行しますが、ここで神様のいたずらか突如ミッショントラブルが発生し3速ホールド状態となり、緊急ピットインを行い、合わせて最後のチェッカードライバーのHIROBON選手に交代して、チェッカーを目指して残り1時間半の走行を開始



しました。ミッショントラブルは改善されずにHIROBON選手は4速ホールドのまま、満身創痍の車両で最後まで走行を続けて、電装系にもミッションにもトラブルを抱えながら660周を走り切り3位でチェッカーを受けBRPは24時間耐久レースを終えました。



【第3戦富士スピードウェイSUPER TEC 24h ST-TCRクラス決勝結果】

1位	No.75	m-1 CARCACTORY RS3 LMS	(683)	24:02' 10.456
2位	No.97	Modulo CIVIC TCR	(661)	24:00' 33.274
3位	No.19	BRP Audi Mie RS3 LMS	(660)	24:01' 35.940
4位	No.45	プリズマ☆イリヤ RS3 LMS	(656)	24:01' 44.107
5位	No.98	FLORAL CIVIC TCR	(639)	24:00' 55.740
6位	No.65	L&JR Mars Audi RS3 LMS	(524)	24:00' 36.089

リタイア No.10 Racingline PERFORMANSE GOLF (321) 10:42' 49.653

【コメント】

チームとして最も自信と期待をもって挑んだ24時間レースでしたが、レースの神様はまたチームに大きな試練を与えました。スターティンググリッドにも並ぶ事ができずに、35分遅れでのスタートという絶望的な状況の中レースをスタートする事になりましたが、その絶望的な試練の中でもチームクルーは誰一人決して諦める事なく、24時間レースをし続けた結果、クラス3位でチェッカーを迎える事ができました。日頃、優勝以外は全て「負けだ」と考えている私ですが、この試練の中の3位には優勝以上の価値がある誇らしい物を得る事ができました。私の想いに応えてくれたすべてのチームクルーに最大の感謝を伝えたいと思います。また日頃献身的にチームをお支え頂いているスポンサー各社の皆様、更に日頃チームに声援を頂いてるファンの皆様本当にありがとうございます。今年も残り3戦となりましたが、最後の最後まで決して諦める事なくシリーズチャンピオンを目指して走り続けますので、今後共ご支援・ご声援何卒よろしくお願い致します。



株式会社バースモータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト
代表取締役 奥村 浩一



ST-TCR
#19

Birth Racing Project

Press release - 2018.6.01-6.03

BRP
BIRTH RACING PROJECT

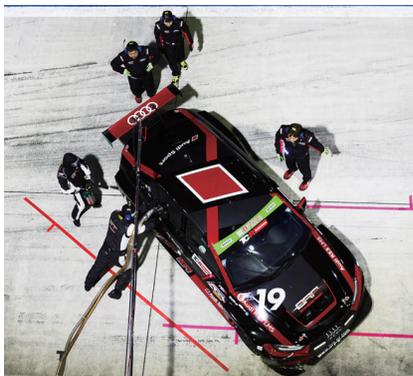


■2018年BRPスーパー耐久プロジェクトパートナー



順不同

プレスリリースに関するお問い合わせ先：office@brp.gr.com





BIRTH RACING PROJECT
www.brp.gr.com